

今シーズン初！ 北海道の野鳥で高病原性鳥インフルエンザ 疑い事例を確認！！

9月30日に北海道乙部町で回収された野鳥から、A型鳥インフルエンザウイルス簡易検査の陽性反応が確認されました。

国内の死亡野鳥での簡易検査陽性は今シーズン初めてとなります。

家さん飼養農場の皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策の徹底をお願いします。
(裏面参照)

【経緯】

- ・9月30日（月）、北海道乙部町で、ハヤブサ1羽の死亡個体が回収され、10月1日の簡易検査において、A型鳥インフルエンザウイルス陽性反応を確認。今後、国立環境研究所において遺伝子検査を実施予定。
- ・回収地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化。



飼養衛生管理基準の遵守状況の点検を！

鶏、あひるなど家きん飼養者の皆様へ

家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策をお願いします。

特に、次の飼養衛生管理基準7項目の遵守状況を点検してください。

- ① 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等（項目15）
- ② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目16）
- ③ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等（項目17）
- ④ 鶏舎に立ち入る者の手指消毒等（項目25）
- ⑤ 鶏舎ごとの専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目26）
- ⑥ 鶏舎外での病原体の汚染防止（項目28）
- ⑦ 衛生管理区域内の整理整頓及び消毒（項目32）

発生予防のポイント

農場に入る全ての

人・車両・物品の衛生対策



周囲にはウイルスがあると認識。
農場内・家きん舎内には入れない。

衛生管理区域・家きん舎ごとに
専用の長靴を着用



着替え・履き替えの前後で
交差しないよう境界を明確に。

ウイルスを媒介する

野生動物の侵入防止対策



「農場に近寄らせない」
「農場内に入れない」
「ネズミ・ハエ等の定期的な駆除」